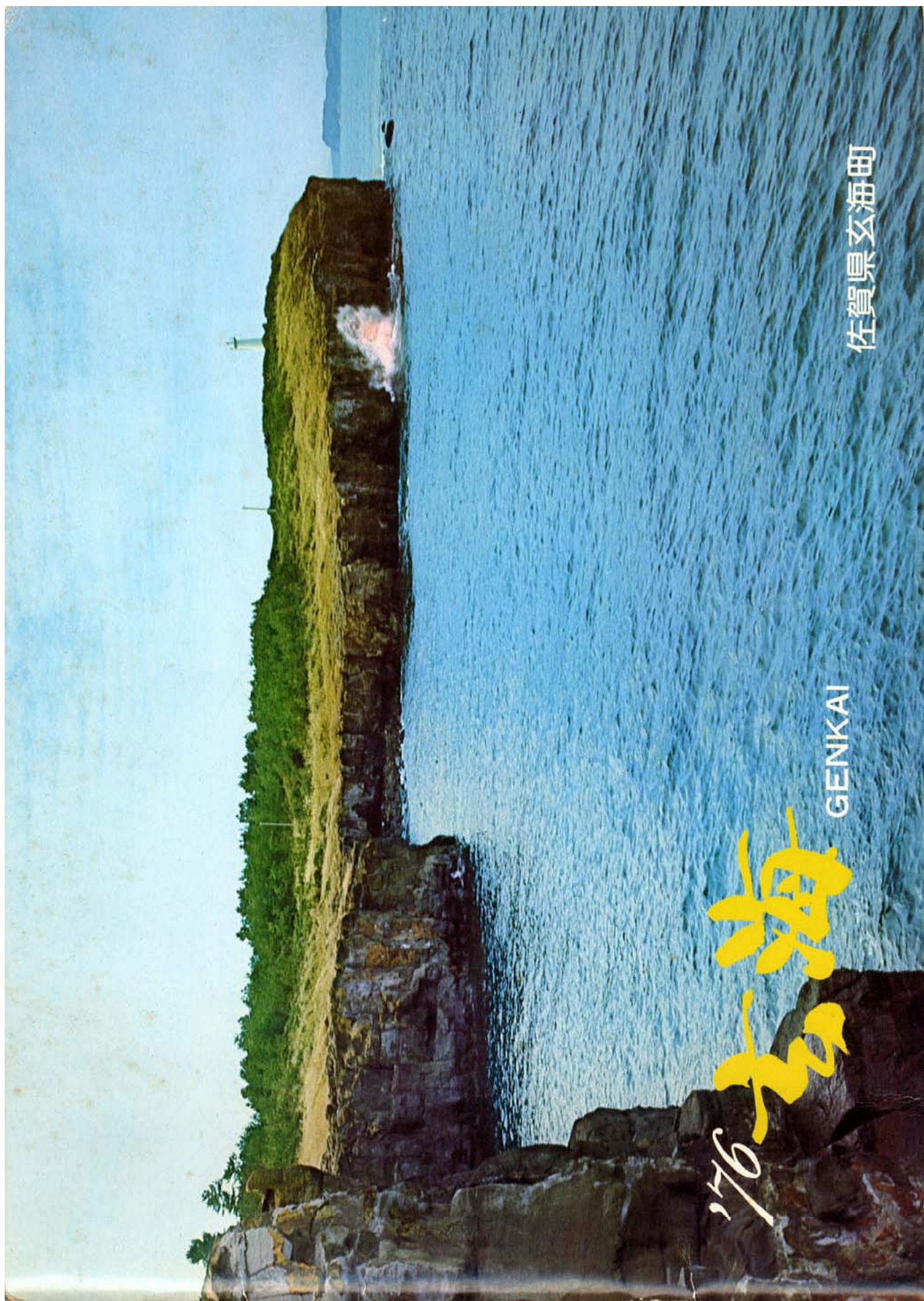




佐賀県玄海町

GENKAI

玄海
9/1



町名について

当地は玄界灘に臨む松浦平島の一部をなし、玄海に極めて親しみ深い土地である。北風に波濤岩喘めども泰然として揺るぎなく、また広漠たる玄海の如く果てしなく雄飛発展することを期待して「玄海町」と命名した。

'76玄海町勢要覧

目次

位置、面積	3
沿革、地勢、町図	4
気象	5
人口	6
行政	7
議会	8
選挙	9
財政	9
産業、経済	11～14
民生	15～16
保健、衛生、水道	17～18
教育	19～21
社会教育	22
建設	23
消防	24
運輸、通信	25
観光	26～27
その他	28～32



発刊のことば

私たちのまち玄海町は、玄界灘に突出した東松浦半島の一角リアス式海岸の風光明媚な海、温和な風土と緑豊かな自然の中に、昭和31年9月住民の和によって誕生しました。爾来20年産業の振興、教育施設の充実、社会福祉の向上をめざして前進を続けてまいりました。

そのなかで、玄海原子力発電所の建設は、躍進を続ける玄海町の開発と発展の上にひとつの方向づけをしたものといえたと存じます。

県立東松浦高等学校も当町に設置され、上場土地改良事業や国道204号線の整備事業も着々と進捗しております。

私たちは常に明るく住みよい郷土、豊かな町づくりを目標に、時代の流れと共に躍動を続ける町の将来を展望しながら、住民の英知と総意を結集して調和のとれた玄海町の建設に情熱を傾ける所存であります。

今後^{後町}も諸種の施策を進めてまいりますが先人の尊いご努力に感謝の意を捧げ町愛にみちた今後の玄海町の発展に心寄せられる方々のために町のありのままの姿を町勢要覧として集録いたしました。

現在の町勢を知る上で、また町の将来の指針とする上で本要覧がご活用戴ければ幸いこれにすぎるものはいません。

昭和51年12月

玄海町長 寺田寅男

おいたち



本町の地は、古く未羅縣（まつらがた）と呼ばれていた。

「まつら」とは一番はて(末)の「ら国」と言う意味、尚新羅や百済、高句麗と密接な関係のある地名で今から約2千年ばかり以前にできたのである。その「まつらがた」の一角に有浦、値賀の地が相隣しているが、この地名については松浦党48党中の有浦、値賀両氏の姓が地名になったかのように思われる松浦党は、源の姓で領邑の地名を姓としたのが殆んど総てと言ってよい。従って、有浦、値賀の地名は有浦氏、値賀氏がその地に拠る以前から有ったのである。

明治4年庄屋を廃して里正を置き6年1月郡を区に改め三大区に分ち、各大区を小区に、区に長を、大区に戸長、小区内各村に副戸長を配した。当時旧値賀村は世大区に属し、旧有浦村は世大一区に属し五名の戸長を配した。その所管は今村、外津、普恩寺、平尾、浜野浦、値賀川内、大藪、石田、飯屋、小加倉、石室、名護屋、波戸、串、加唐島、小川島、加部島、松島、馬渡島、向島牟形、諸浦、長倉、轟木、有浦上、有浦下となっていた。

明治11年大小区制を廃し、新に郡を設け松浦郡を東西南北四部に分ち、南北西部は長崎県に属せしめた明治16年戸長民選法が定められ、同22年市町村制の施行によって戸長を村長に改める。長期に亘る郡制も地方自治の強化に伴ない大正15年7月1日廃止。しかる後諸般の事務は、町村移管となり旧村も遂に昭和31年9月30日円満なる協調的合議合併により「玄海町」が誕生し越えて昭和32年12月31日旧切木村の分村合併に当り同村北部の4部落（座川内、湯野尾、田代、藤平）を吸収合併して第一歩を踏み出した。

以来、本町は産業振興、教育施設の充実、社会福祉の拡充に努めてきた。その過程において原子力発電所の建設は躍動をつづける本町の開発と発展の上にひとつの方向づけができたといつてよいでしょう。

今後「玄海町総合基本計画」を策定し、それをもとに、道路、港湾など総合交通ネットワークの形成、庁舎建設、上場土地改良事業、福祉センター建設など町づくりを順次具体化実施の方向である。



位置

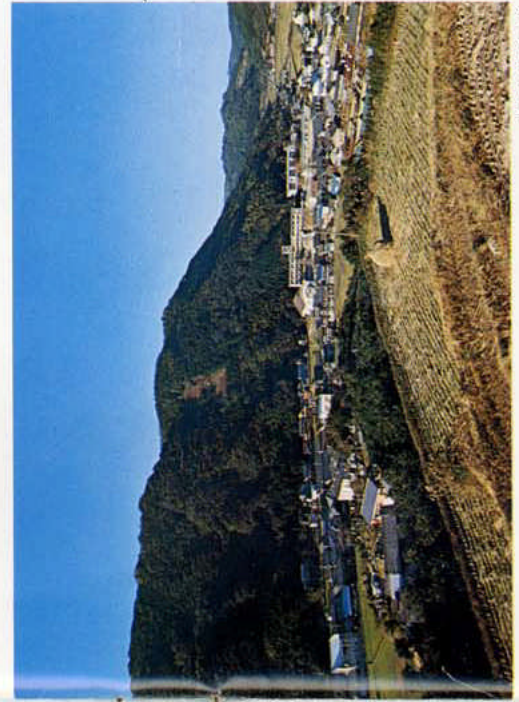
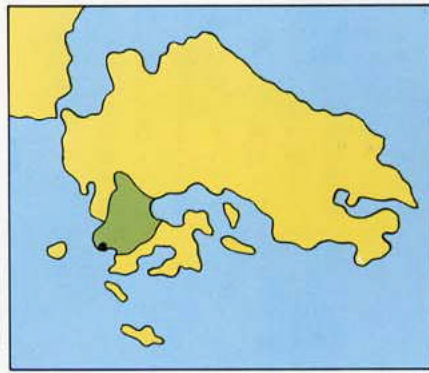
東経 129°52' 北緯 33°28'

本町は、佐賀県の西北に位し、唐津市より西へ隔ること12kmにして、玄界灘を一望に眺め杓岐、対馬を望むことができる。

東西約7km、南北9km、西部は大部分玄界灘に面し、北は鎮西町、東は唐津市、南は肥前町に接している。

面積

35.77km²

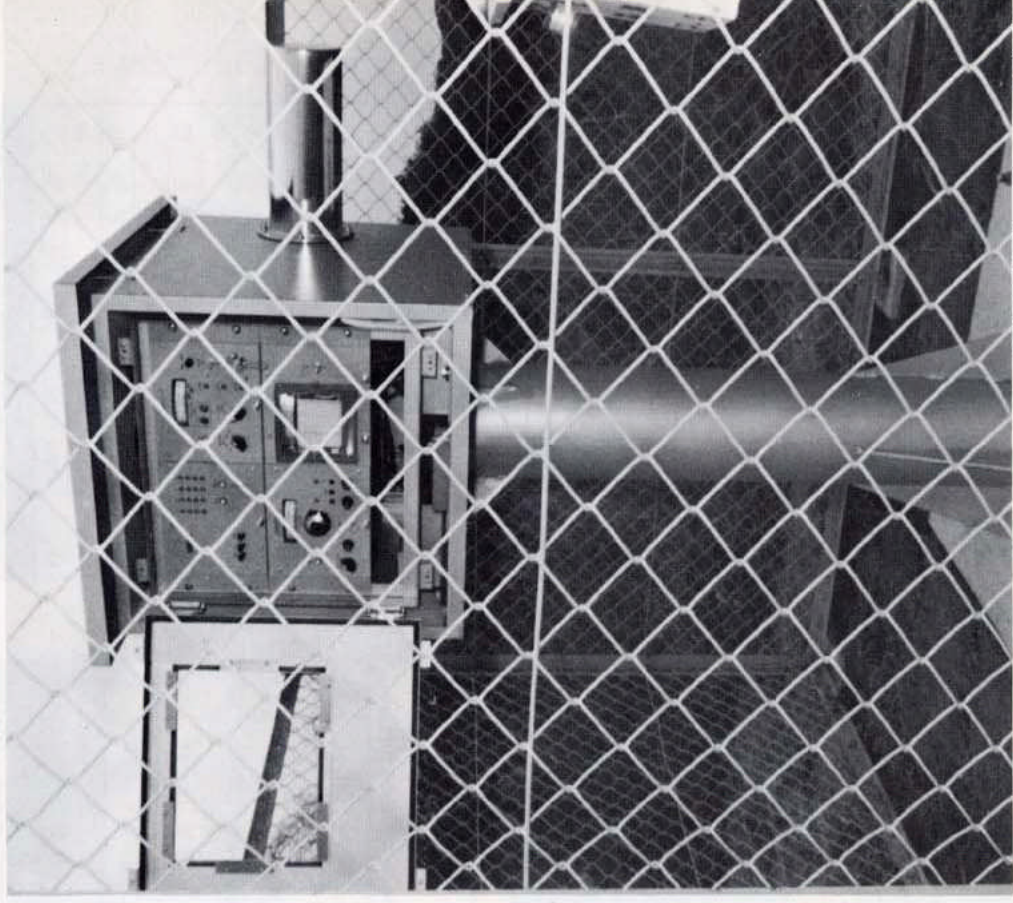
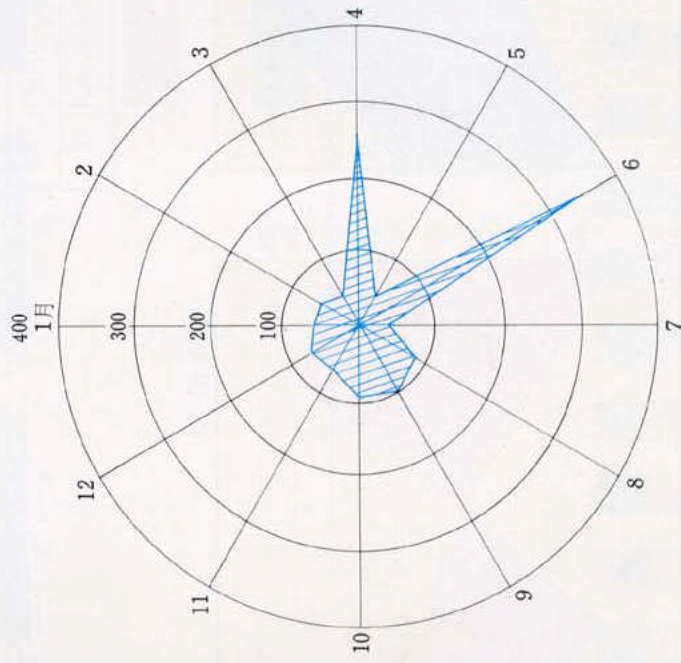


町の中心部

気象

天候 (S 50.1.1 ~ S 50.12.31)
 晴 168日 曇 153日 雨 39日 雪 5日

昭和50年降雨量



放射能測定器モニターングポスト

人口

●町内各部落別人口世帯数

部落名	男	女	計	世帯数
小加倉	99	116	215	44
有浦下	156	172	328	66
有浦上	251	266	517	96
長倉	122	129	251	55
諸浦	285	352	637	151
新田	135	152	287	70
牟形	165	173	338	65
森木	97	92	189	36
大島	24	26	50	10
値賀川内	145	151	296	54
飯立	124	120	244	51
中	132	138	270	50
下宮	114	134	248	48
外津	389	356	745	197
普恩寺	213	216	429	82
平尾	106	106	212	47
浜野浦	100	98	198	36
大園	113	109	222	48
石田	124	106	230	44
花ノ木	41	43	84	16
飯屋	477	556	1,033	226
柴	60	48	108	24
座川内	130	118	248	47
湯野尾	74	75	149	28
田代	51	40	91	17
藤平	40	43	83	14
計	3,767	3,935	7,702	1,622

(昭51.10.1 住民票基本台帳より)

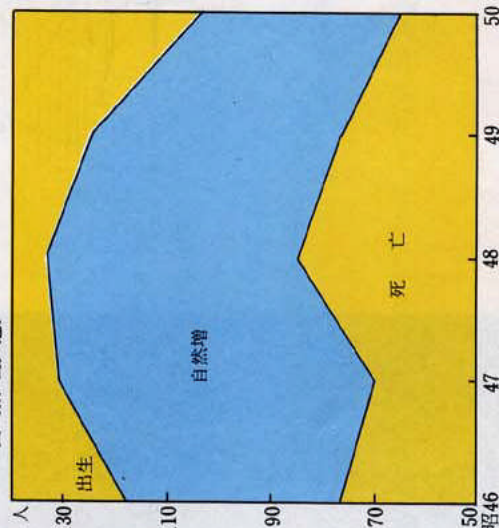
●人口と面積

年次	面積 (km ²)	人 口 (人)			世帯数	1世帯 当り人 口(人)
		男	女	計		
30	30.75	4,237	4,383	8,620	1,485	5.8
35	35.54	4,384	4,568	8,952	1,617	5.5
40	35.54	3,881	4,194	8,075	1,574	5.1
45	35.76	3,545	3,923	7,468	1,527	4.9
50	35.77	3,592	3,835	7,427	1,554	4.8

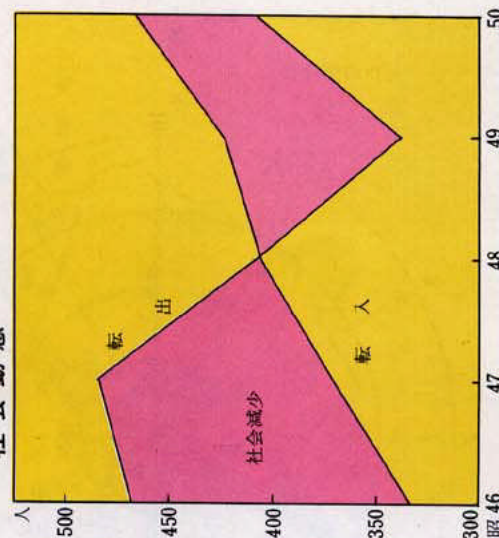
(国勢調査各年10月1日 30年は有浦村、値賀村のみ)



自然動態



社会動態



行政



寺田町長

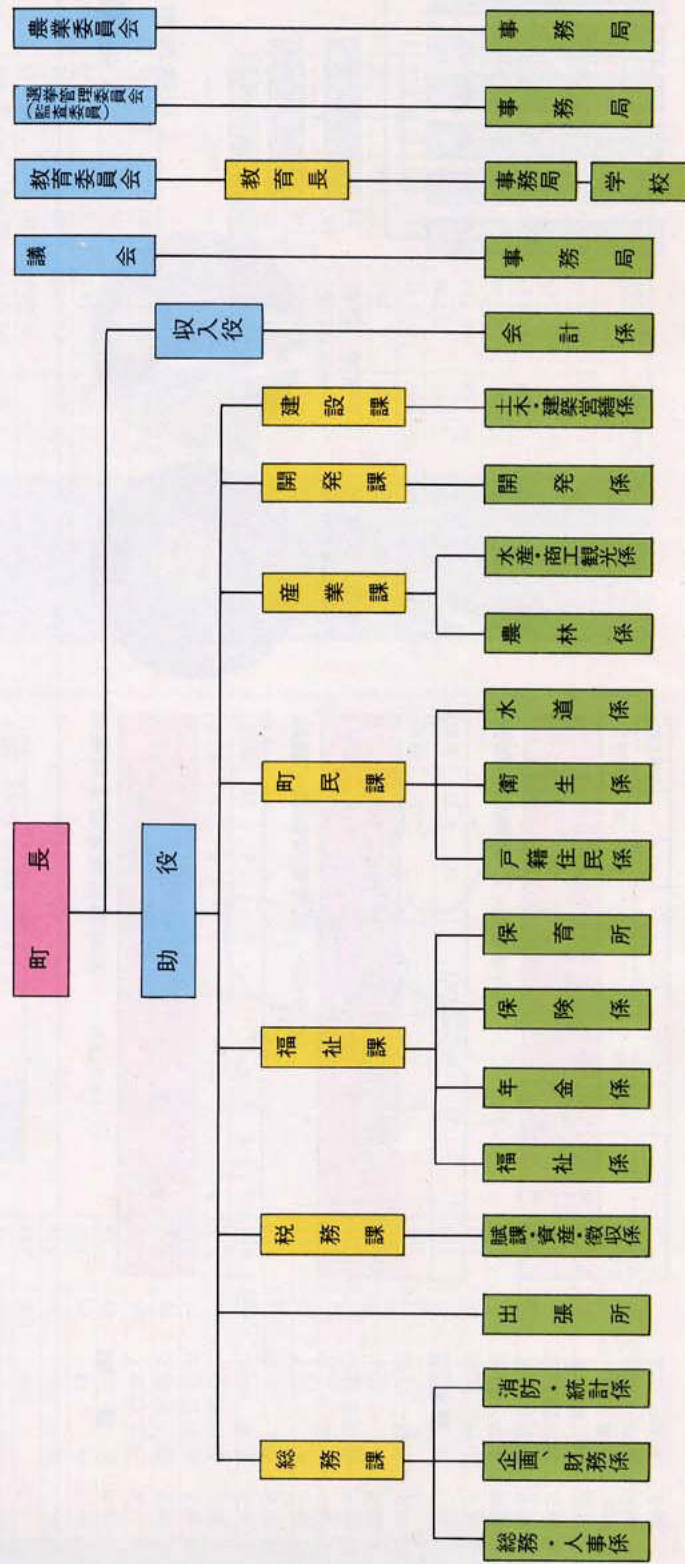


大原助役



草場収入役

玄海町行政機構図



歴代町長

町長

宮崎 専一 S31.10.28～34.6.16
 松隈 矩夫 S34.7.15～38.7.14
 久保佐太郎 S38.7.15～39.10.17
 山崎 節治 S39.11.20～43.11.19
 山崎 節治 S43.11.20～46.10.16
 寺田 寅男 S46.11.21～50.11.20
 寺田 寅男 S50.11.21～現任中

助役

徳永美代志 S32.2.1～33.12.2
 前田 定男 S35.10.6～39.10.5
 宮崎 長誠 S40.7.21～44.7.20
 宮崎 長誠 S44.7.21～46.12.15
 大原 寅蔵 S51.7.13～現任中

収入役

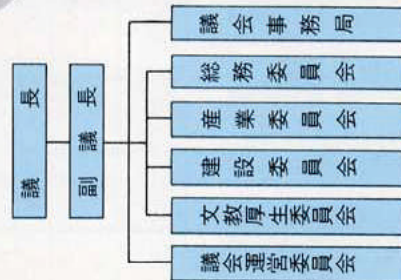
前田 定男 S31.11.18～35.10.5
 山口 富治 S35.10.6～39.10.5
 山口 富治 S39.10.17～43.10.16
 山口 富治 S43.10.17～46.5.10
 永田七五雄 S46.7.1～50.6.30
 草場 敬 S50.7.3～現任中



庁舎玄関附近

議会

● 議会構成



第11代議長
渡辺 義見



第8代副議長
脇山 磯美

本会議及委員会活動状況 (昭和50年)

区分	町議会開催回数	町議会開催日数	町議会開催時間	町議会開催場所	町議会開催回数	町議会開催日数	町議会開催時間	町議会開催場所
回数	3	5	—	—	7	8	—	—
日数	23	8	—	—	7	8	—	—

請願、陳情処理状況 (昭和50年)

区分	受付件数	審議状況	議決状況	議決状況
請願	0	採択と決定したもの	採択と決定したもの	採択と決定したもの
陳情	22	10	12	—

議案の審議状況 (昭和50年)

区分	議案提出件数	審議状況	議決状況	議決状況
町長提出	30	16	3	2
議員提出	—	—	—	—

議長

久保佐太郎 S31.9.30～32.9.29
 久保佐太郎 S32.9.30～34.7.8
 山下智賀治 S34.8.28～36.9.29
 久保佐太郎 S36.9.30～38.6.14
 山崎 節治 S38.7.18～39.11.13
 中山 勇 S39.12.9～40.9.29
 中山 磯 S40.9.30～44.9.29
 岩下 金一 S44.9.30～46.11.14
 山口志智美 S46.12.16～48.9.29
 中山 磯 S48.9.30～50.11.2
 渡辺 義見 S50.12.18～現任中

副議長

世戸 房治 S31.9.30～32.9.29
 越路 与吉 S32.9.30～34.8.27
 宮崎須賀雄 S34.8.28～36.9.29
 青木精治郎 S36.9.30～40.9.29
 青木精治郎 S40.9.30～44.9.29
 八島 義男 S44.9.30～48.9.29
 渡辺 義見 S48.9.30～50.12.17
 脇山 磯美 S50.12.19～現任中

選挙

財政

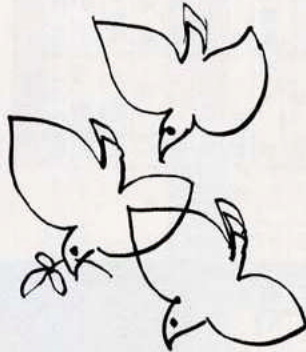
選挙人名簿登録者数 (単位…人)

投票区	部落名	男	女	計
1	有浦上	162	176	338
	長倉	87	89	176
	諸浦	187	229	416
	新田	83	93	176
	花の木	29	28	57
2	藤平	26	31	57
	計	574	646	1,220
	小加倉	69	76	145
3	有浦下	91	120	211
	計	160	196	356
	藤木	62	64	126
4	大鳥代	13	16	29
	計	33	26	59
	牟形	108	106	214
5	座川内	105	124	229
	湯野尾	73	84	157
	計	223	255	478
6	大石	69	70	139
	東飯屋	82	74	156
	計	188	226	414
7	西飯屋	124	128	252
	飯立	463	498	961
	平尾	79	84	163
8	浜野浦	68	74	142
	栄	61	64	125
	計	33	33	66
9	中通	241	255	496
	下宮	82	97	179
	普恩寺	75	92	167
合	計	121	130	251
	外津	278	319	597
	値買川内	256	248	504
合 計		2,400	2,624	5,024

(昭51.1.31現在)

各種選挙投票状況

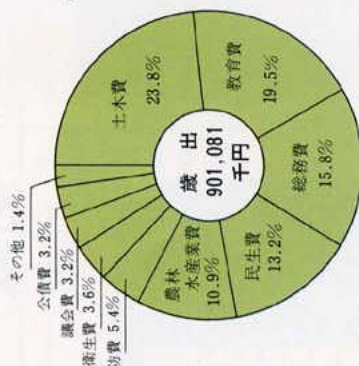
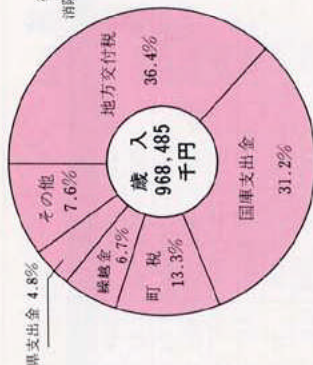
選挙の種類	執行年月日	選挙当日有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	棄権者数
議会議員選挙	48.9.15	4,865	4,612	94.80%	253
		男2,298 女2,567	2,157 2,455	93.86% 95.64%	141 112
参議院議員選挙	49.7.7	4,943	3,611	73.05%	1,332
		男2,351 女2,592	1,712 1,899	72.82% 73.26%	639 693
統一地方選挙	50.4.13	4,916	4,350	88.49%	566
		男2,334 女2,582	2,083 2,267	89.25% 87.80%	251 315
町長選挙	50.11.9	4,975	4,579	92.04%	396
		男2,369 女2,606	2,190 2,389	92.44% 91.67%	179 217



区分	年次	歳入					歳出				
		昭 47	昭 48	昭 49	昭 50	単位：千円	昭 47	昭 48	昭 49	昭 50	単位：千円
地方	税	49,812	56,854	85,827	128,462						
地方	譲与税	4,763	5,013	8,868	10,277						
自動車	取得税交付金	6,669	7,775	10,559	14,623						
地方	交付税	219,478	286,989	366,633	352,134						
交通安全	対策特別交付金	125	177	—	379						
分担金	及負担金	6,184	6,213	3,875	350						
使	用	1,730	3,546	8,825	10,555						
手	数	670	717	930	996						
国庫	支出金	56,239	87,430	131,097	301,712						
県	支出金	119,154	132,825	117,624	46,865						
財	産	取	入	2,348	42,708						
寄	附	金	3,491	153,014	223,013						
繰	入	金	—	75,000	97,500						
繰	越	金	88,306	63,189	131,136						
諸	取	入	13,294	7,562	8,352						
地	方	債	47,100	61,800	84,600						
計		619,363	990,792	1,286,128	968,485						

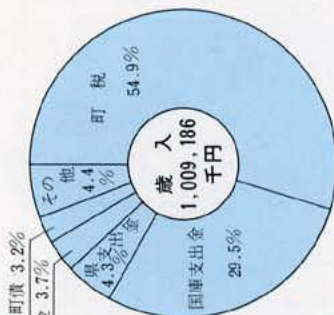
区分	年次	歳入					歳出				
		昭 47	昭 48	昭 49	昭 50	単位：千円	昭 47	昭 48	昭 49	昭 50	単位：千円
議	会	費	13,085	20,325	28,438						
総	務	費	90,318	241,297	106,780						
民	生	費	42,410	61,705	137,073						
衛	生	費	12,661	35,008	74,489						
労	働	費	327	386	386						
農林	水産業費	69,692	101,119	113,239	98,459						
商	工	費	2,843	2,796	788						
土	木	費	96,263	80,372	81,239						
消	防	費	31,545	32,104	37,727						
教	育	費	77,238	153,933	449,138						
災害	復旧費	105,349	113,163	91,768	175,722						
公	債	費	14,609	17,448	24,932						
諸	支	出	金	—	—						
計		556,340	859,656	1,145,997	901,081						

昭和50年度一般会計予算



昭和51年度一般会計

(昭51. 8. 16現在)



一般会計決算の推移

年度	歳入		歳出	
	金額(千円)	指数	金額(千円)	指数
31	61,970	100.0	59,260	100.0
35	87,451	141.1	83,283	140.5
40	167,750	270.7	142,175	239.9
45	356,456	575.2	289,563	488.6
50	968,485	1562.8	901,081	1520.6

町税収入の推移

年度	調定額	収入済額	収入未済額	徴収率%	1人当たり(円)	1世帯当たり(円)
31	28,487	15,722	12,765	55.2	3,249	19,248
35	22,992	14,433	8,559	62.8	2,351	13,694
40	26,561	19,443	7,118	73.2	3,070	16,864
45	32,654	30,688	1,966	94.0	4,163	21,190
50	130,915	128,462	2,453	98.1	17,052	82,492

(単位：千円)

土地及び建物

(単位：㎡)

区分	土地	建物	
		木造	非木造
本庁舎	478	512	—
教育委員会	1,456	1,054	—
消防施設	538	—	—
出張所	988	372	—
小学校	34,512	3,145	5,129
中学校	52,053	2,192	6,243
保育所	6,701	—	1,196
公営住宅	1,308	648	—
その他施設	7,811	480	—
その他	149,186	—	—
合計	255,037	8,403	12,568
合計	—	—	20,971

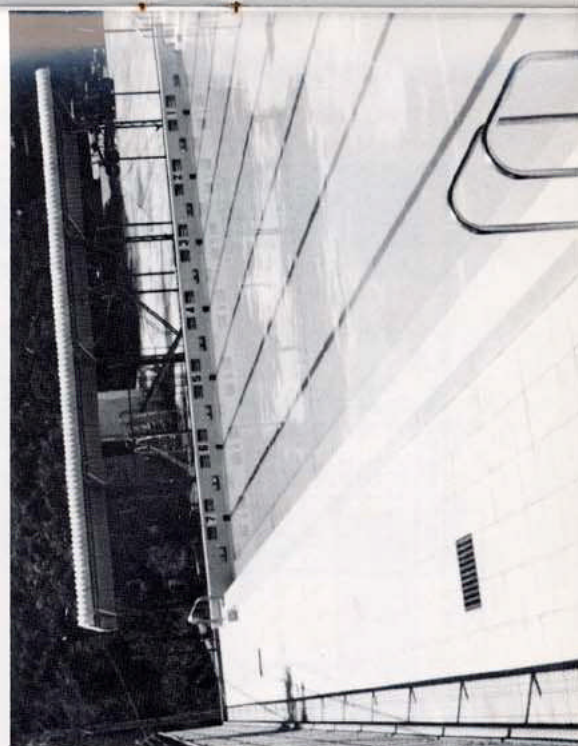
(昭51. 3. 31現在)

地方債

(単位：千円)

区分	現在高
一般公共事業債	1,964
一般単独事業債	81,629
義務教育施設整備事業債	156,048
辺地対策事業債	7,555
災害復旧事業債	8,924
社会福祉施設整備事業債	15,039
県振興資金	2,194
町民税臨時減税補てん債	10
合計	273,363

(昭51. 3. 31現在)

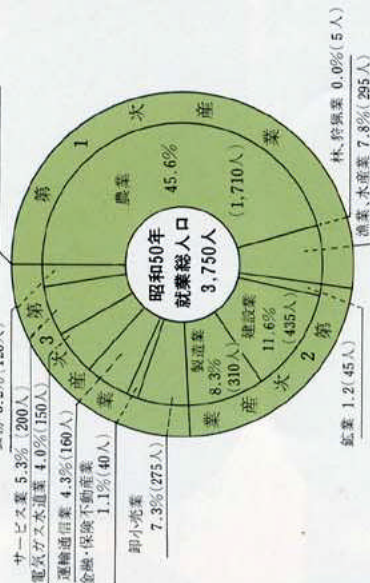


産業・経済

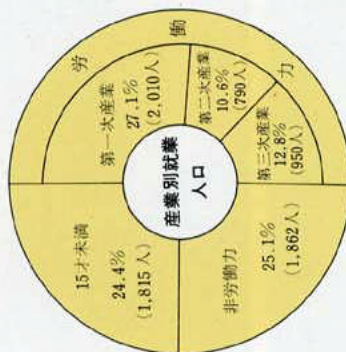
● 産業

昭和50年度における産業別就業者は昭和45年度に比し、総数において、22%の減、第1次産業で42%の減、第2次産業で14%の増、第3次産業で32%の減と玄海町産業構造の変革のきざしが見える。
昭和51年度においては、国道204号線の全面改良舗装、漁港係留施設の完成等、本町産業構造に重大な影響を与える事業の完遂は、農漁業構造改善による第1次産業の振興、観光施設の整備による観光産業の振興と相俟って産業経済の振興に大いに寄与すると思われる。

産業別就業人口構成図 (15才以上) (昭51.10.1現在)



産業別就業人口構成図 (51.10.1現在)



● 農業

町では、農業振興策として特性を生じた営農形態の確立、農業をはじめとした農業基盤の整備、生産性の高い農業の確立を目指して努力しています。

農家数・農家人口・経営耕地面積 (単位：アール)

年次	専業農家	兼業農家	農家人口	経営耕地面積
35	987	176	3,971	1,878
40	1,021	191	4,340	2,352
45	946	126	3,632	1,745
50	867	71	3,473	1,319
計	50	2	113	84

経営規模別農家数

年次	専業農家	兼業農家	農家人口	経営耕地面積
35	987	176	3,971	1,878
40	1,021	191	4,340	2,352
45	946	126	3,632	1,745
50	867	71	3,473	1,319
計	50	2	113	84

家畜

乳用牛	肉用牛	馬	豚	めん羊	やぎ
50	128	483	725	—	—
計	50	2	113	84	—

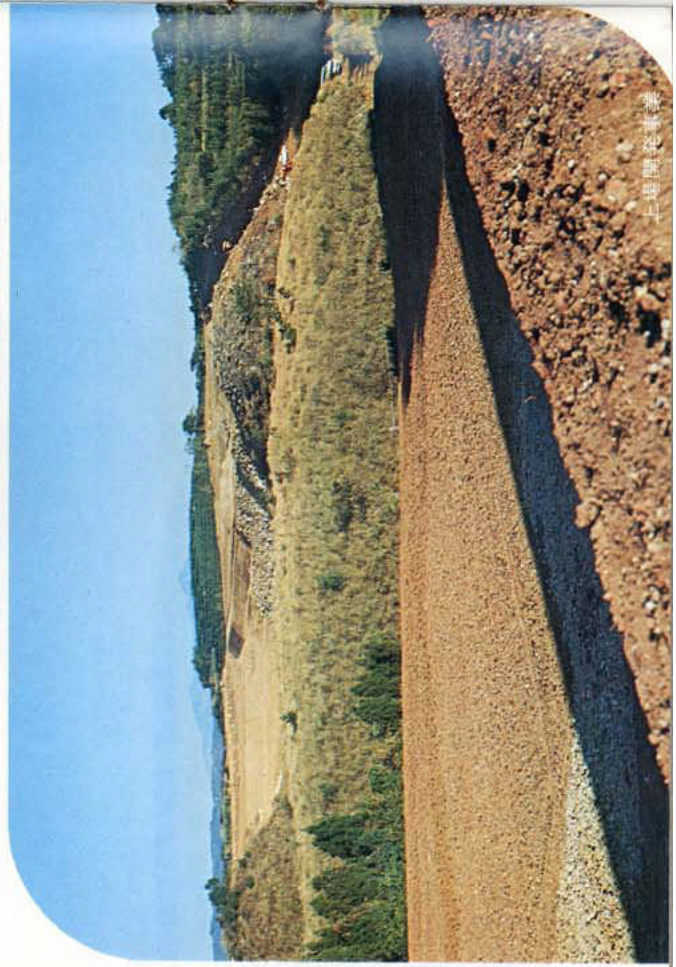
主要農業機械台数

耕うん機	トラクター	動力噴霧機	動力散粉機	田植	畝
50	901	516	568	68	—
計	50	2	113	84	—

地目別面積

区分	課税分	非課税分	総面積
田	65,081	90	65,171
畑	68,908	63	68,971
宅地	6,875	195	7,070
山林	87,817	93	87,910
原野	37,748	109	37,857
雑草地	5,425	2,074	7,499
池沼	116	183	299
その他	—	11,922	11,922
総面積	271,970	14,729	286,699

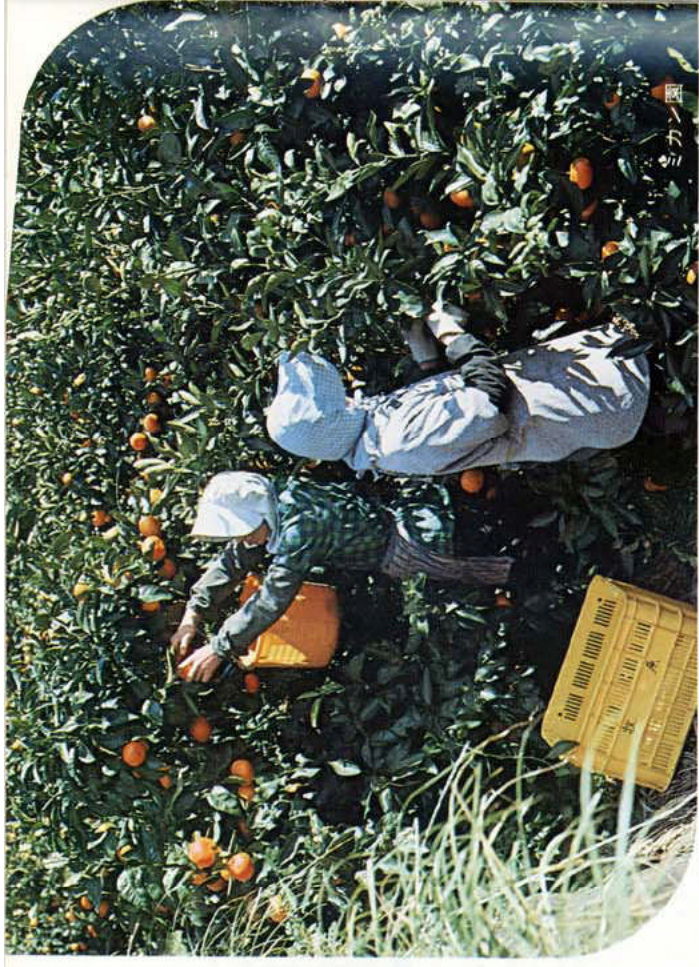
(昭和50年固定資産概要調査)



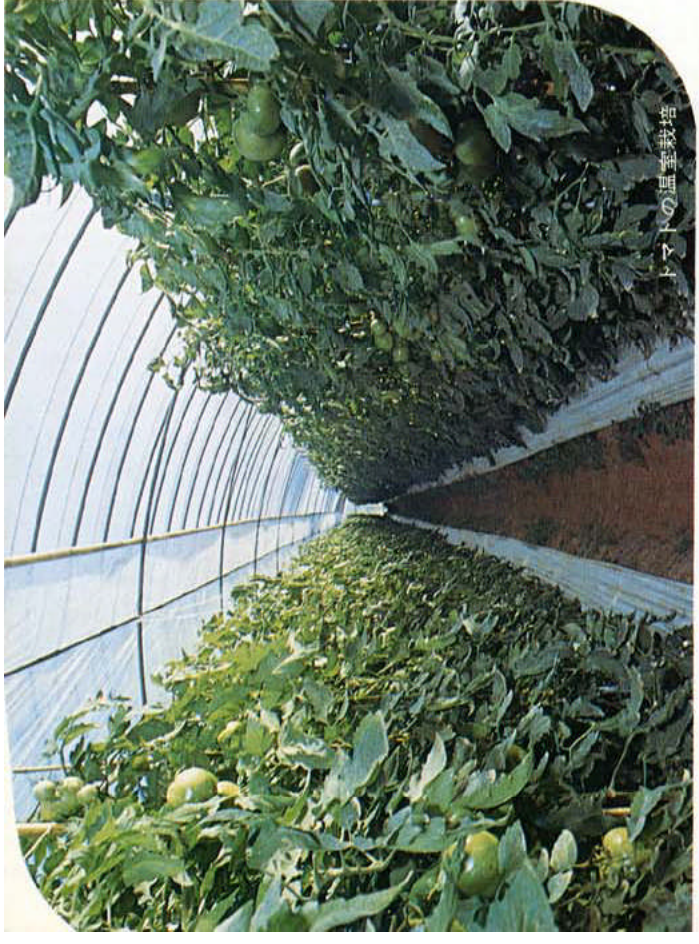
赤土の道



田舎



オレンジ



トマトの温室栽培

水産業

本町の水産業は、沿岸漁業が主で従来からエビ、カニ、タコ、イカなどの水産動物の生産が多くありましたが、最近では、沿岸漁業から養殖漁業への移行が多くなっています。

漁業経営体

漁協別	経営組織		経営体										漁獲金額			
			漁船		漁船漁業			階層		海面養殖						
			無動力	動力	1 t	1 t	3 t	5 t	10 t	小型定置網	真珠	真珠母貝				
														非使用	共同経営	その他の養殖
飯屋	79	1	—	4	2	1	43	16	1	—	2	4	6	—	1	141,500
外津	68	—	1	4	—	4	28	24	3	2	1	1	—	2	—	120,600
計	147	1	1	8	2	5	71	40	4	2	3	5	6	2	1	262,100

(漁業センサス 昭48.11.1 現在)

漁業の種類

(単位：世帯)

漁協別	小型低びき網	刺し網	いか釣り	その他の釣り	はえなわ	船びき網	小型定置網	採貝	その他の漁業	真珠養殖	真珠母貝養殖	はまち養殖	その他の養殖
飯屋	26	3	—	12	—	20	2	2	4	4	6	—	1
外津	1	2	23	27	2	—	1	—	10	1	—	2	—
計	27	5	23	39	2	20	3	2	14	5	6	2	1

(漁業センサス)

漁港

(単位：m)

漁港名種別	係留施設の延長	係留施設の延長	外郭施設の延長	防波堤	専設等	護岸	計
飯屋第一種	—	434	39	473	19	—	1,995
外津第一種	—	93	—	93	—	—	404
合計	—	527	39	566	19	—	2,399

(昭和50年3月31日現在)

漁業協同組合

区分	組合名	正	準	合計
飯屋		86	19	105
外津		85	12	97

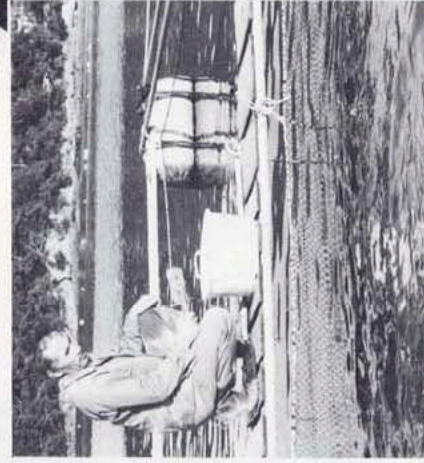
(昭51.5.31現在)



養殖真珠の玉選定



外津漁港



タイの養殖

飯屋漁港



商業

昭和49年の商店数は108店、従業者数189人、年間販売額は101百万円です。それを昭和45年と比較しますと、年間販売額にして約6千万円の増となっています。数字のうえからは明るいものがかがわれますが、当町では商店街の近代化や経営改善を促進し充実させて行くことに力を入れています。

金融機関

区分	総数	銀行	信用組合	郵便局	協同組合	農業	漁業
店数	2	1	1	3	2	2	2

玄海町商工会

会	員	数
法人	個人	計
5	130	135

(昭50.3.1現在)

(昭50.3.1現在)

商業

区 分	商店 数	従業 者数	年間商品 販 売 額	
			千円	千円
小 売 業	昭和45年	89	166	42,994
	47年	93	176	70,247
	49年	108	189	101,589
	卸売業	—	—	—
	一般卸売業	2	—	—
	計	106	189	101,589
	各種商品	—	—	—
	繊維・衣服	3	5	9,320
	飲食料品	58	93	250,720
	飲食店	19	35	5,663
業	自転車荷車	2	2	—
	家具・建具・什器	5	9	34,070
	その他	19	45	35,852

(商業統計調査 5月1日)

商店街

工業

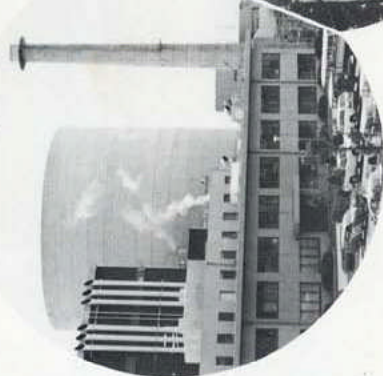
本町の工業は、交通網の整備に伴ないわずかながらも進出している。

現在2社が営業中である。

業種別事業所

業種分類	事業所数	総数	従業員数	家族従業者	雇用者	うち常雇
農林水産業	1	46	—	—	46	37
非農林水産業	290	1,898	229	153	1,472	941
鉱業	16	49	15	12	22	21
建設業	23	754	19	9	712	222
製造業	19	192	18	13	160	147
卸売業・小売業	134	259	124	75	57	50
金融・保険業	8	32	3	3	25	25
不動産業	—	—	—	—	—	—
運輸・通信業	13	61	10	13	38	38
電気・ガス・水道熱供給業	2	164	—	—	164	161
サービス業	66	298	40	28	205	198
公務	9	89	—	—	89	79
計	290	1,898	229	153	1,472	941
総計	291	1,944	229	153	1,518	978

(昭50.5.15事業所統計調査)



九州電力玄海発電所

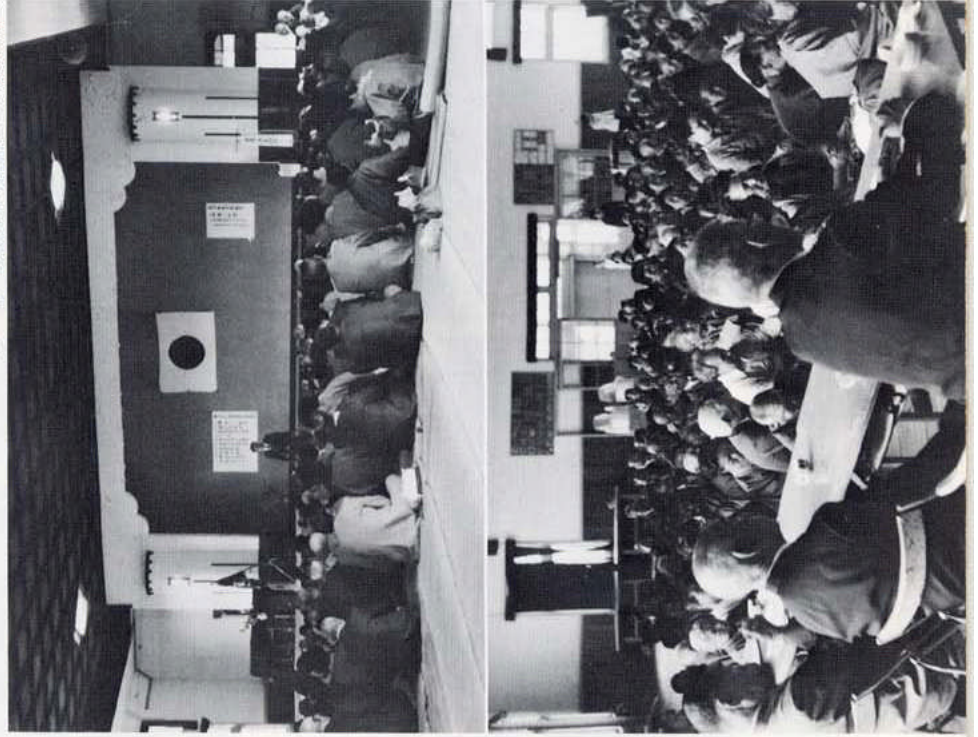


玄海ソーイング

民生

本町では、福祉の向上を図るため、県社会福祉協議会が一体となって施設、設備の充実を推し進めています。なかでも老人対策は、老人の「しあわせ」を願い、町においても老齢年金を支給したりして全力をあげています。

上・下 昭和51年度老人学級開講式



老人家庭奉仕員状況

区分 年次	奉仕員 人	対象家庭 世帯	実施家庭 世帯
50年度	1	30	30

民生委員

(昭51.4.1現在)

計	員		1人当り 平均世帯	1人当り 平均人員
	男	女	99	478
16人	13人	3人		

福祉年金支給状況

年度	種別	総支給額		受給者数		別内訳		玄海町 敬老年金
		受給者 人	受給金額 円	障害年金	母子年金	母育年金	母育年金	
50		608人	77,702千円	636人	72人	—人	—人	266人
51		567	91,819	499	68	—	—	268

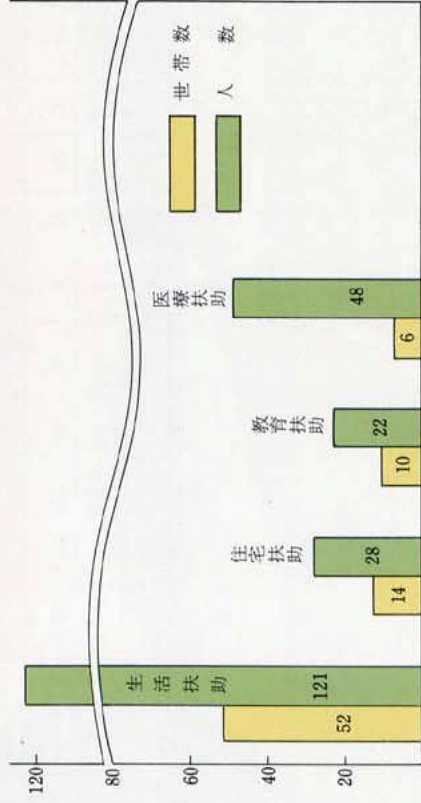
(各年度6月末)

国民年金加入状況

対象者(ア)	加入者		加入率	
	総数	強制加入(イ)	任意加入	イ/ア
2,758人	2,673人	2,525人	148人	91.6%

(昭51.4.1)

生活保護世帯状況 (S50年)



児童福祉

次代を担うすべての児童の幸福を願うことを根底として、児童福祉の向上をはかるため、本町では、専門的設備と技術をもつ乳幼児保育所の新設など保育所の充実をはかる。

児童手当支給状況 (単位：世帯人口・千円)

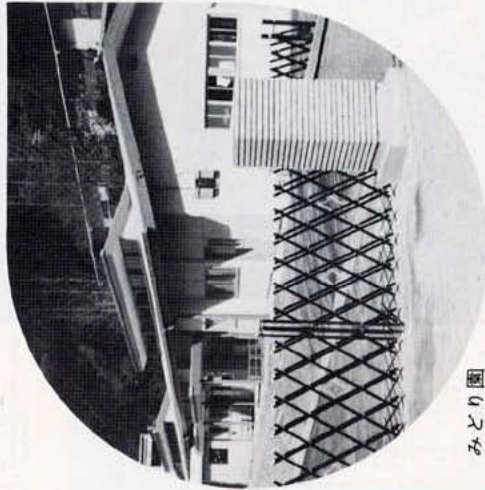
区分	月別 50年 2～5月	6～9	10～ 51年1月
世帯	373	372	378
人員	453	451	459
金額	7,306	7,232	7,184



わかば園



ふたば園



みどり園



児 園 図

保 育 所 名	職 員 数	定 員	措置 人員	年 齢 別			開設年月日	建 物 面 積
				3 歳 未満児	3 歳児	4 歳 以上児		
わかば	6	90	84	4	19	63	昭47.4.1	356.54
ふたば	6	90	90	1	11	78	昭48.4.1	377.93
みどり	8	90	78	5	10	63	昭49.9.1	461.16

(昭51.10.1現在)

保健・衛生・水道

豊かな明るい基盤はなんといっても健康です。町としても町民の健康を保持するため、医療機関と保健所の協力を得て、各種予防接種、保健相談など早期検診、予防でも幅広い保健衛生を推し進めています。水道も有浦、値賀両地区に大型浄水場が完成し、町民のくらしの資源になっています。

死因別状況

死因	脳血管疾患	がん	胃がん	心疾患	不慮の事故	自動車事故	高血圧性疾患	肺炎	肝硬変	全結核	自殺	その他	計
49年次	20	10	6	11	3	2	7	1	1	3	4	16	76

(唐津保健所調)

簡易水道状況

事業主体名	竣工年月	計 給水人口(A)	画 給水人口(B)	現 給水人口(C)	在 給水人口(D)	計画一日最 大給水量(E)
有 浦	S46. 6	1,050	1,030	1,004	250	
値 賀	S50. 3	3,000	2,647	2,617	650	
飯 塚	S33. 4	1,800	1,116	1,015	320	
座 川 内	S31. 3	310	251	118	(推) 72	
栄	S39. 8	154	106	106	(推) 36	
計		6,314	5,150	4,860	1,328	

(公共施設調 昭51.3.31現在)

ごみ処理状況

排出量	処分	状況	備考
総量	埋立	その他	
3,347	9	2,871	476

(公共施設調 昭51.3.31現在)

し尿処理状況

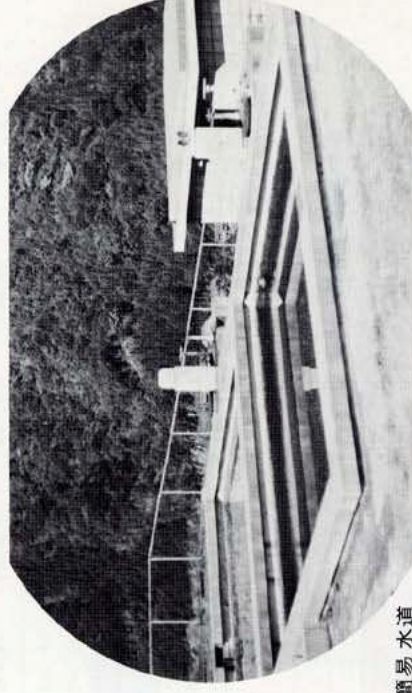
排出量	処分	状況	備考
総量	処理施設	その他	
3,904	11	3,347	557

(公共施設調 昭51.3.31現在)

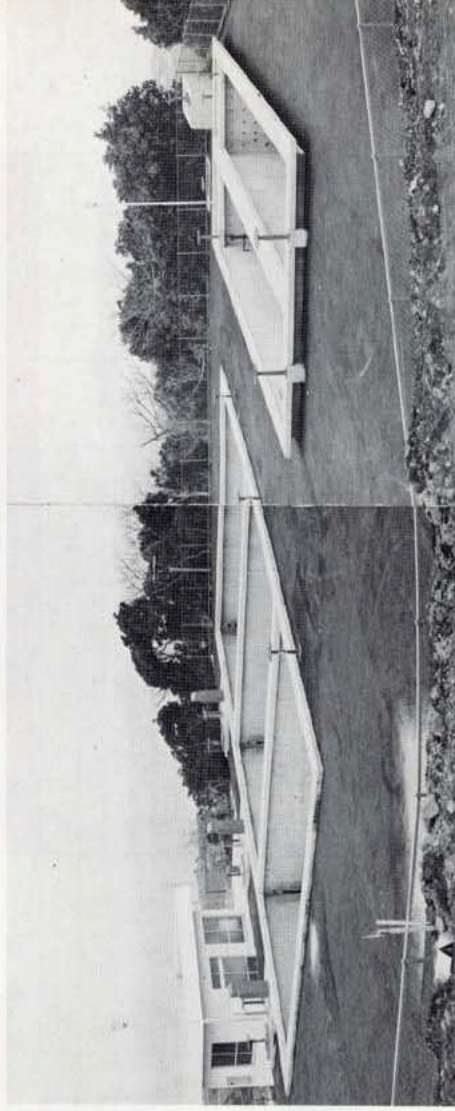
結核住民検診者状況

種別	検診者(人)
総数	3,694
ツ反検査	395
B C G	143
間接撮影	424
精密撮影	32
事後撮影	—

(昭和50年度)



有浦地区簡易水道



値賀地区簡易水道

国民健康保険

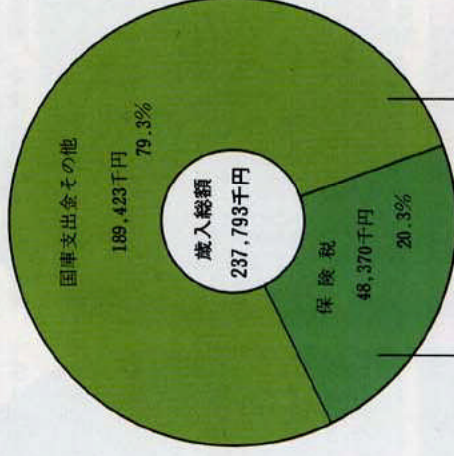
国民健康保険

(単位：千円)

年 度	決 算 額		国 保		税		
	歳 入 (千円)	歳 出 (千円)	調 定 額 (千円)	収入済額 (千円)	収入未済額 (千円)	1 人 当 り (円)	1 世帯当り (円)
46	89,683	74,015	20,002	18,090	1,912	3,646	16,668
47	94,229	82,377	20,704	18,976	1,728	3,859	17,369
48	130,752	107,189	23,021	21,743	1,278	4,440	19,693
49	192,494	161,205	49,705	48,190	1,515	9,583	42,923
50	237,793	216,612	49,907	48,370	1,537	9,676	42,474

(各年 5. 31)

昭和50年度予算と税



被保険者数	5,158人
1人当り税額	9,676円

歳出総額	216,612千円
1人当り歳出額	41,995円

保険給付の推移

年度	加入 世帯数	被保険 者数	保険給付	
			給付額 (千円)	1人当り (円)
46	1,200	5,486	66,208	12,069
47	1,192	5,365	76,614	14,280
48	1,169	5,185	101,074	19,494
49	1,158	5,187	142,622	27,496
50	1,175	5,158	189,725	36,783

(各年 5. 31)

医療施設

診療所 施設数	病床数	鍼灸院 助産婦	
		施設数	人数
4	76	3	2

(昭51. 4. 1現在)

教育

小学校4、中学校2があるが、児童生徒数は、過疎現象及び出生率の低下等により年々減少している。

予算の約2割を教育費にかけている町では、今学校施設の増強に力強く取り組んでいます。ゆつたりとした教室でのびのび勉強にはげんでもらうことが願いなのです。

区分 校名	校舎面積(保有面積)			危険校舎 m ²	基準面積 必要面積 m ²	屋内運動場 必要面積 m ²	左に對す 現況m ²	校地面積 m ²	教員数 人	職員数 人
	木造m ²	非木造m ²	計 m ²							
有浦小	98	2,076	2,174	—	1,912	532	714	13,411	13	2
車形小	905	—	905	—	1,430	532	0	6,101	9	1
飯屋小	1,501	—	1,501	533	1,430	532	0	4,903	9	1
値賀小	—	2,649	2,649	—	1,755	532	445	14,957	11	1
有浦中	—	4,477	4,477	—	2,161	629	1,567	39,400	15	3
値賀中	1,651	101	1,752	33	1,679	629	454	11,901	11	2

(昭51.5.1現在)

児童・生徒数

(単位：人)

学校 年次	小学校				中学校		
	有浦	年形	飯屋	値賀	計	有浦	値賀
43	403	115	234	391	1,143	423	251
45	366	109	168	348	991	375	235
47	318	91	141	298	848	342	213
49	283	86	139	262	770	315	191
50	268	83	150	260	761	280	169

(各年 5月1日現在)

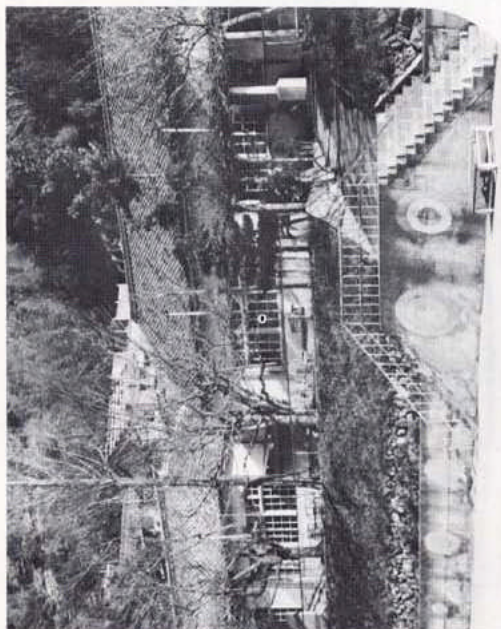
学級数

学校 年次	小学校			中学校		
	有浦	年形	飯屋	値賀	計	有浦
43	13	6	7	13	39	11
45	13	6	7	13	39	10
47	13	6	6	11	36	9
49	11	6	6	8	31	10
50	10	6	6	8	30	9

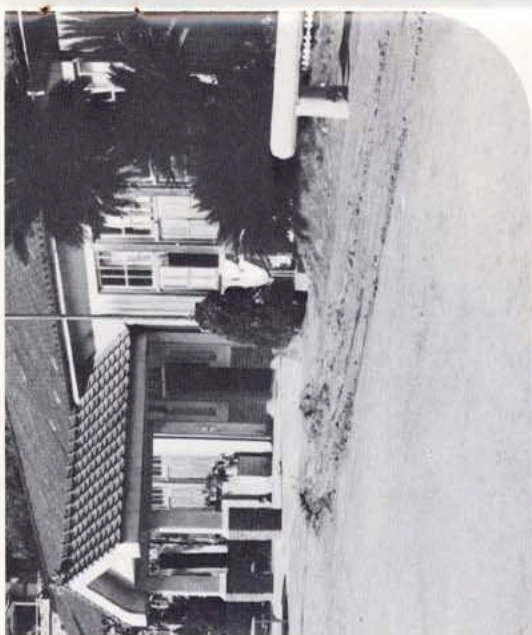
(各年 5月1日現在)



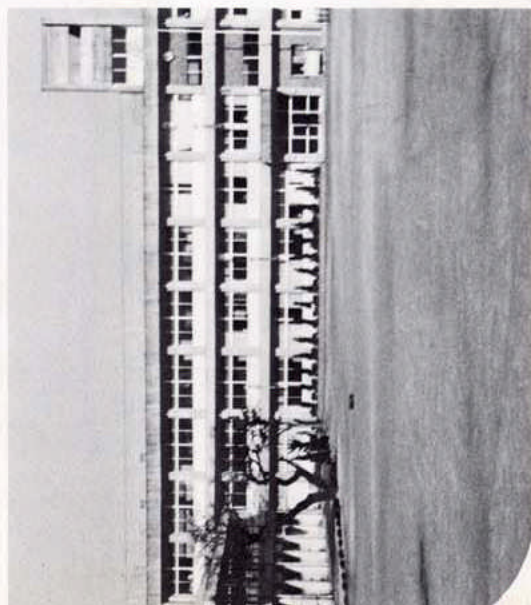
有浦小学校



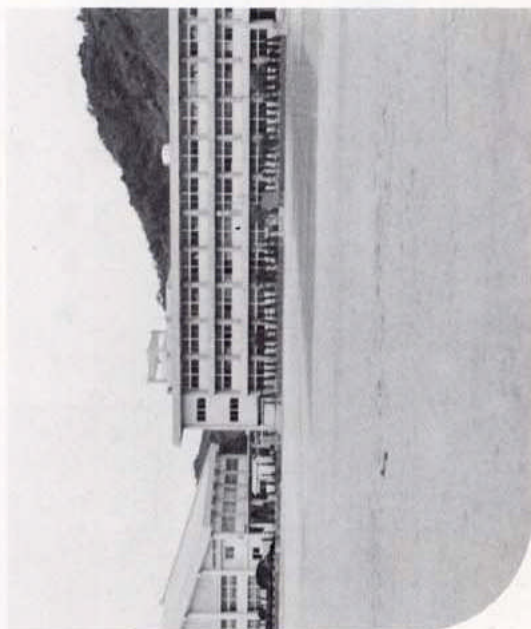
牟形小学校



飯屋小学校



値賀小学校



有浦中学校



値賀中学校

高等学校

町民待望の県立東松浦高等学校がS49.4.1玄海町の有浦干拓地に設立されました。この高等学校開校により、上場四町における高等教育が完全可能となり町としても将来明るいものがあります。

佐賀県立 東松浦高等学校景



高校生徒数・学級数

区分 高校名	生徒数	学級数	備 考
東松浦	540	12	昭49.4.1開校

(昭51.5.1現在)

社会教育

町民のひとりひとりが社会の一員として楽しく生活してゆくにためには、やはりルールが必要です。社会教育は、楽しいグループ活動やレクリエーションをとおりして、町民の文化的教養を高め、次の時代をなう青少年の健全な育成をはかることが目標です。

公民館を中心に各種学級、講座を開設し学習活動が活発におこなわれています。

各種団体の概況

(昭51.3.31)

種 別	人 員
青 年 団	120人
婦 人 会	828
PTA 連絡協議会	1,229
子 供 ク ラ ブ	1,160
老 人 ク ラ ブ	953

各種学級

(昭51.3.31)

学 級 名	開 設 数
一 般 学 級	1
家 庭 教 育 学 級	19
婦 人 学 級	7
青 年 学 級	6
計	33

青年団の意見交換会



郡民体育大会



納涼の夕べ



町民体育大会

建設

町も総需要抑制の課題に直面しながらも、町民の生活環境を重視し道路、橋りよう、学校プール、町民広場など数多くの事業が着々と建設されている。

道路・橋りよう

(単位：m・m²)

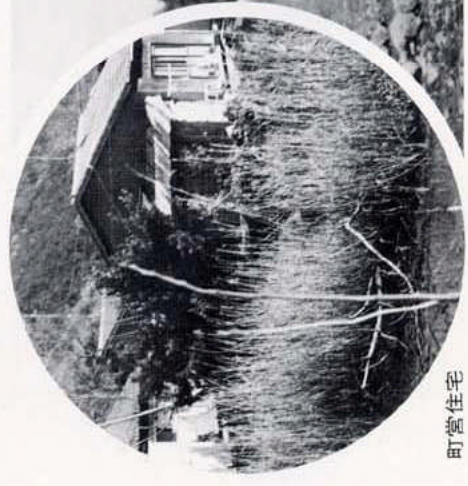
	道 路	橋 り っ ぽ う
延 長 面 積	延 長 面 積	延 長 面 積
国 道	10,689	85,512
県 道	17,126	77,067
町 道	150,832	479,798
計	178,647	652,357

(昭51.4.1 土木事務所調)

道路状況

項 目	数 値
道 路 実 延 長 (m)	150,832
道 路 面 積 (m ²)	479,778
改 良 済 延 長 (m)	43,521
舗 装 済 延 長 (m)	62,993
自動車交通不能延長 (m)	15,060
橋 数 (本)	67
橋 り っ ぽ う 延 長 (m)	508

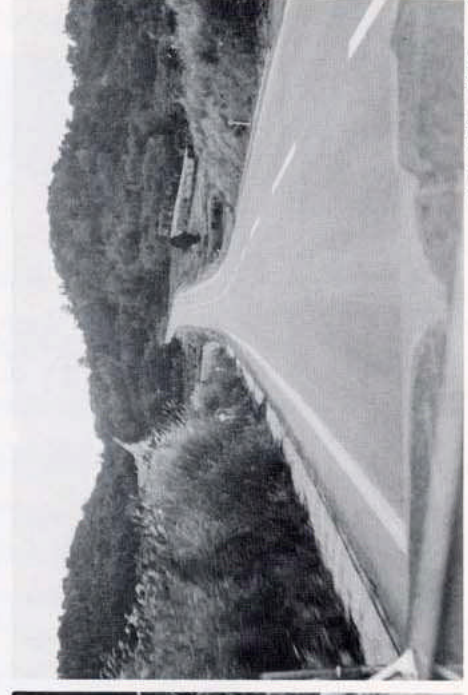
(昭51.3.31 公共施設状況調)



町営住宅



農免農道の新設



完全舗装の県道



国道二〇四号線改良工事

消 防

消 防 団

(昭51.3.31)

人	ポンプ自動車	手引動力ポンプ	小型動力ポンプ	消火栓充足率
519人	1台	0台	30台	35車 48.9%

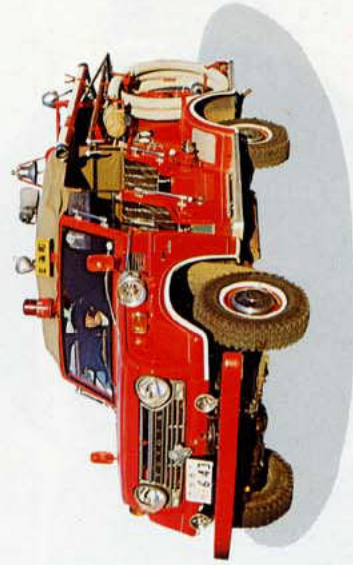
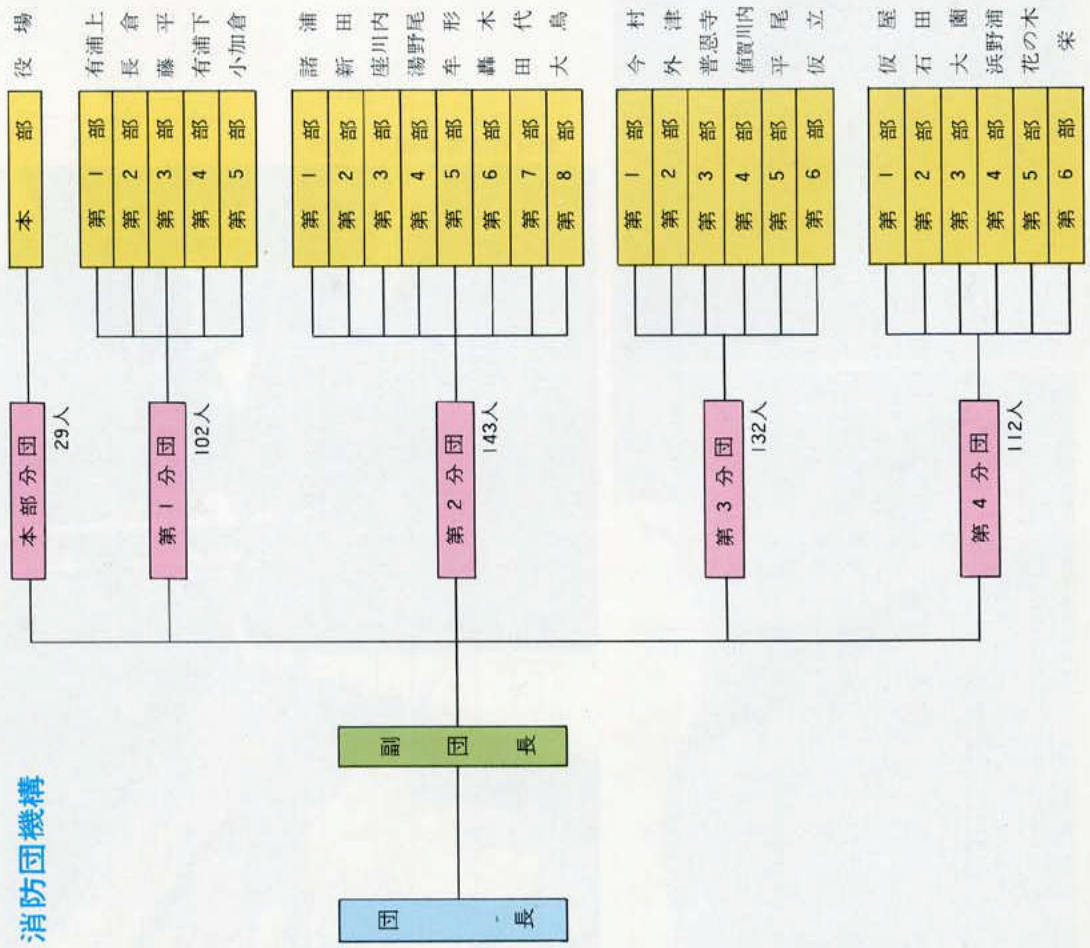
消防力

(唐津、東松浦広域市町村圏西部分署)

人	員	ポンプ車	救急車
14		1	1

救急車出動状況

区 分	出動総数 (件)	救急件数 (件)
48	23	23
49	41	41
50	41	41



本部消防車

運輸・通信

自動車台数の推移

年度	区分	乗用車	貨物自動車	自動二輪車	その他	計
50		724	360	20	33	1,137

(佐賀県陸運事務所調)

軽自動車等の台数推移

年度	区分	原動機は 自動車	小型特殊 自動車	軽自動車	二輪の小 型自動車	計
48		729	655	408	48	1,840
49		769	657	439	49	1,914
50		782	646	480	43	1,951

(税務課課税台帳調)

電話施設状況

(単位：台)

年度	区分	電話加入数			公衆電話
		住宅用	事務用	総数	
46		38	546	584	23
47		575	629	1,204	24
48		580	635	1,215	25
49		609	680	1,289	25
50		739	764	1,503	36

(唐津電報電話局調)

普通郵便・小包取扱状況

(単位：通・一日平均)

年度	区分	普通郵便			小包	
		引受	配達	引受	配達	
46		773	1,251	9	18	
47		702	1,129	9	21	
48		856	1,211	12	24	
49		852	1,290	11	26	
50		570	1,091	4	13	

(玄海郵便局調)

テレビ普及状況

(単位：世帯)

種別	年度	46	47	48	49	50	51
カラーテレビ		61	266	433	826	1,076	1,153
白黒テレビ		1,215	1,046	879	534	307	217
普及率		81.1	86.0	85.9	89.1	90.6	88.2

(NHK佐賀放送局調)

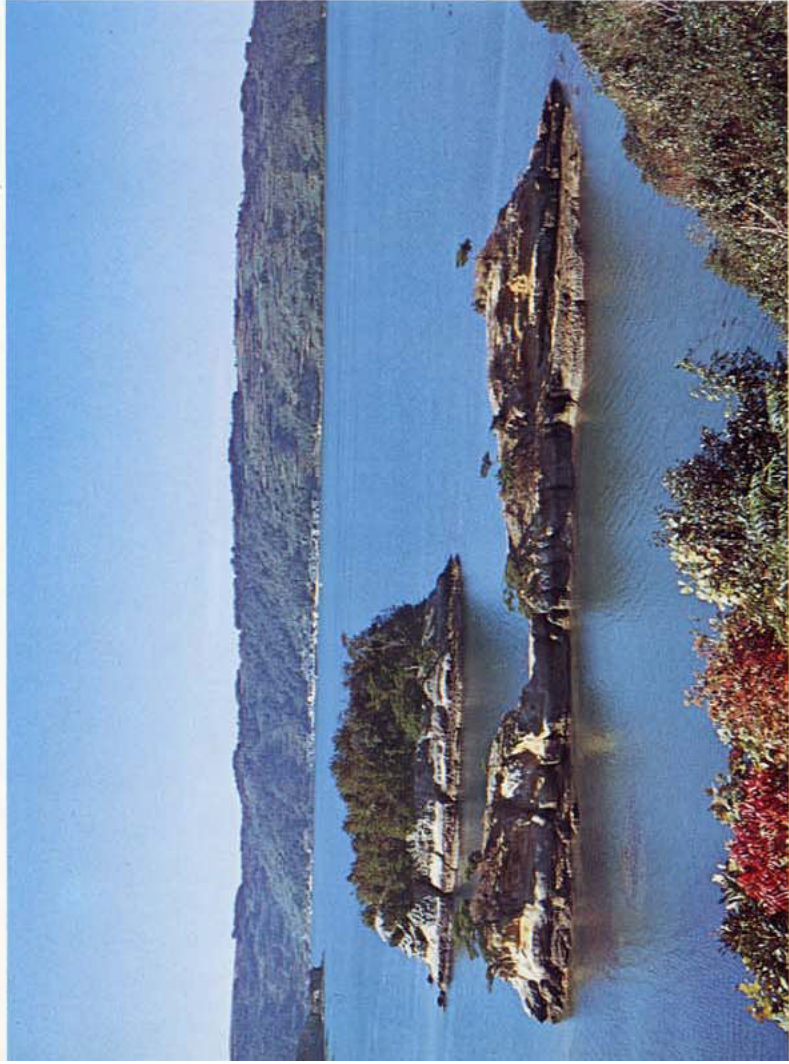


玄海郵便局

観光

仮屋湾、外津湾は波静かで温かく特に真珠養殖地と知られているが、それと共に我等日常生活の労を慰める楽しさ唯一の釣場として知られ、その利用者も年々増加しつつある。

又、仮屋湾の三島遊園地や各島々の風情は極めて楽しめるところであり、外津湾には、外津大橋が開通し湾の最西端値賀崎の地は灯台を有し、そしてこの他九州初めての原子力発電所が建設され観光地としても一躍、脚光をあびている。



26 青海に浮ぶ 玉子島
肥の松島と称せられる仮屋湾玉子島の美景



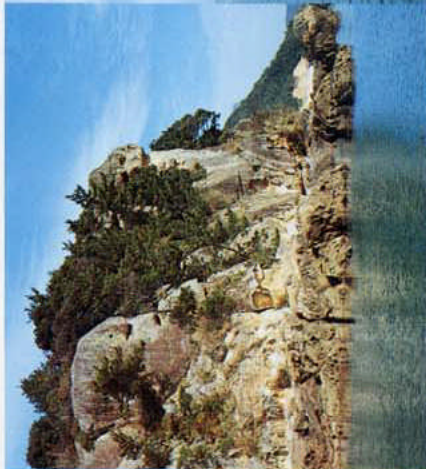
三島公園

玄武岩で形作られた三つの島からなる三島は緑の松と青い海とのおりなす景観は、皆様の心をとらえ何時の日かまた、という気を持たせてくれます。



城の山の展望

今から 370 余年の昔、値賀伊勢守源長の居城の跡といわれています。



三島公園 仏崎の絶壁

そびえ立つ奇岩は雄大そのものである。



仮屋湾口離岩の鼻



有 浦 川

本町の東部から西部に流れ仮屋湾に注ぐ本町最大の有浦川は水もきれいで、あゆの釣場として、又うなぎの夜釣等、釣客が多く釣愛好者も心ゆくまでたのしめるところである。



仮 屋 湾

点在した天然の良港で、現在では花形産業である真珠養殖や鯛養殖の筏が整然と配置され釣漁場として愛好されています。



外 津 橋

わが国最初の鉄筋コンクリート橋、唐津、呼子、名護屋、玄海、肥前、伊万里を結ぶ玄海国定公園の一大観光ルートである。



天下の奇岩 蝦蟇岩(がまぜ)

海上にどっしりと座ったこの岩は遠方から眺めるとちやうど「ガマ」に似ていることから呼ばれ、釣りマニアの好漁場でもあります。



国 宝
薬師瑠璃光如来

その他

文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
重要文化財	木製薬師瑠璃光如来座像	玄海町有浦下東光寺	大正2年8月20日

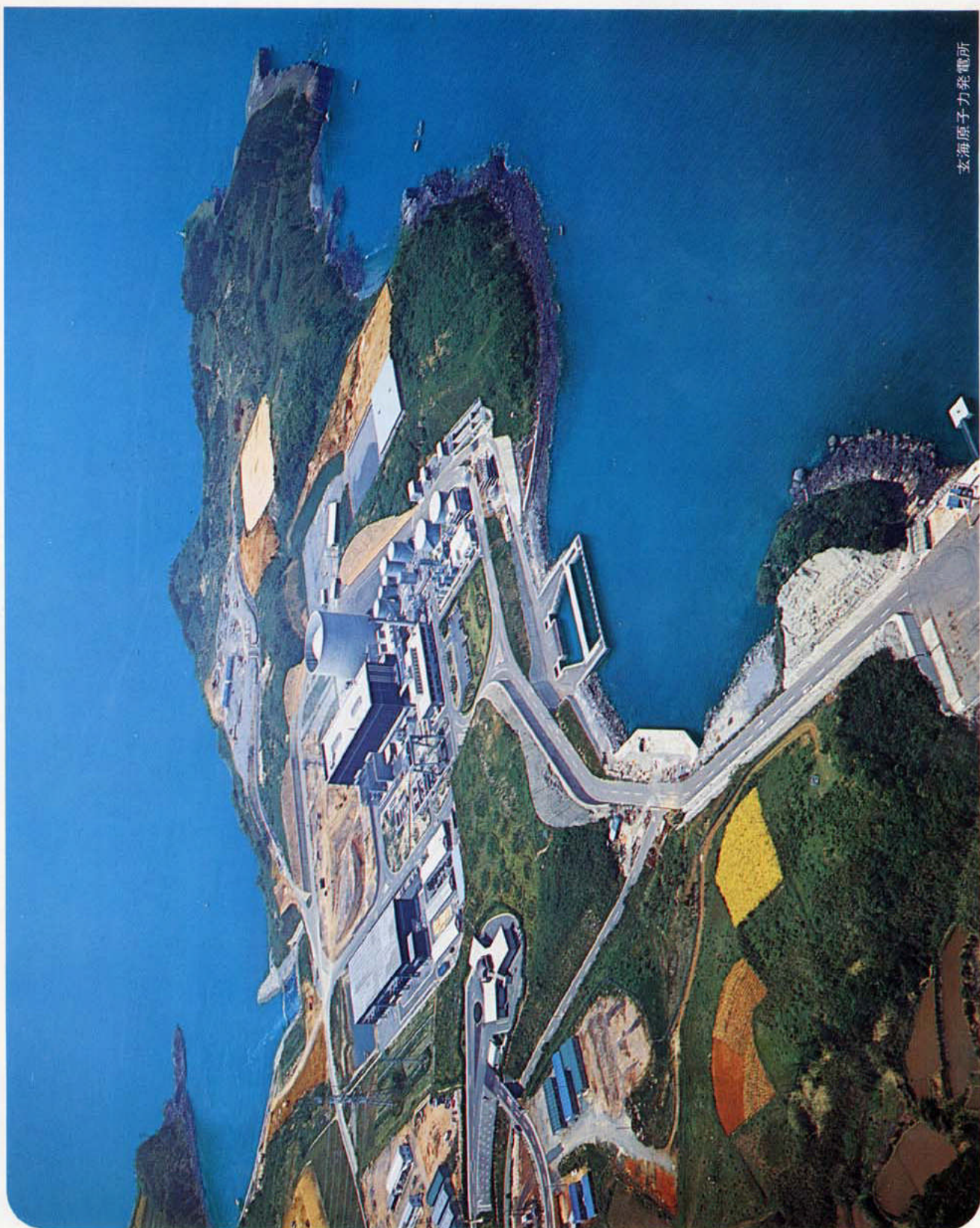
●玄海原子力発電所建設概要

1. 位置 佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
2. 用地面積 約 800,000m²
3. 用地代 九 電 2億2千万円
町補償費 1億1千万円
4. 関係農家 (用地買収) 141世帯 151名
5. 発電所出力 559,000KW
6. 原子炉型式 軽水減速、軽水冷却加圧水型
7. 建設資金 417億円
8. 工期 着 工 昭和45年12月
営業運転開始 昭和50年10月
9. 漁業補償金 3億2千万円
内訳 外津漁協 1億5千7百万円
飯屋漁協 1億3千万円
串 漁 協 3千3百万円

●原子力発電所建設経過

- 昭40. 4. 30 佐賀県より建設計画の話しあり
40. 11. 1 町議会の原子力発電所調査研究特別委員会発足
40. 11. 8 地元との話し合い
40. 12. 20 地質調査の開始
41. 4. 15 用地買収予備交渉
41. 6. 23 議会で誘致を決議
43. 2. 13 用地買収契約締結
45. 9. 21 漁業補償契約締結
45. 12. 10 原子炉の設置許可(国)
46. 3. 16 着工
47. 11. 16 原発の安全確保に関する協定締結
47. 12. 28 2号機工事申入れ
50. 1. 28 臨界
50. 10. 15 運転開始

玄海原子力発電所



玄海町のあゆみ

昭和31年	値賀村、有浦村合併により「玄海町」誕生する 玄海国定公園に指定される
昭和32年	座川内、湯野尾、田代、藤平、玄海町へ編入合併
昭和33年	有浦簡易水道事業初まる 部落電話架設工事初まる 仮屋簡易水道工事初まる
昭和34年	国民年金福祉制度発足 国民健康保険事業初まる 玄海町建設計画書作成
昭和35年	有浦中学校々舎増築（継続） 有線放送工事
昭和36年	有浦中学校々舎増築完成 国民年金処出年金制度初まる
昭和37年	仮屋、有浦簡易水道町営となる 離島へき地学生寮組合発足
昭和38年	農業構造改善対策事業の地域指定となる
昭和39年	値賀中学校屋体建設 小加倉遊園地造成 値賀崎灯台新設
昭和40年	平尾、新田町営住宅敷設 農業構造改善対策事業（値賀川内） 国鉄呼子線鉄打式
昭和41年	値賀農協みかん集荷所建設（農業構造改善対策事業） 石田揚水機取付工事 国土調査事業初まる
昭和42年	座川内溜池改良工事 農業構造改善対策事業（値賀川内、浜野浦） 国鉄呼子線着工
昭和43年	住民基本台帳制度発足
昭和44年	藤平開拓パイロット事業（藤平、長倉） 大園揚水機取付け 有浦下子供遊園地造成 車形揚水機取付け

昭和44年	有浦干拓圃場整備 消防ポンプ自動車購入（本部） 下村橋々梁整備 車形小学校運動場拡張整備事業 唐津、東松浦広域市町村圏協議会発足 海岸保全事業始まる（外津、仮屋） 普恩寺溜池改良工事 出稼相談員制度初まる 有浦干拓圃場整備 国道 204号線昇格 車形小学校運動場拡張工事 有浦簡易水道拡張工事 唐津、東松浦広域市町村圏組合発足 わかば保育所設置 値賀小学校屋内運動場新築 老人医療無料化制度初まる 農業振興地域の指定うける 諸浦橋々梁工事 ふたば保育所設置 47災集中豪雨発生 ふたば、わかば保育園増築 値賀地区簡易水道事業初まる 広域消防西部分署開設 海岸保全事業完成（外津） 値賀簡易水道完成 みどり保育園設置 有浦中学校々舎改築 有浦中学校屋内運動場、技術室新築 有浦中学校運動場整備事業 県立東松浦高等学校開校 国営上場土地改良造成事業初まる 値賀簡易水道通水初まる 発電用施設周辺地域整備法の事業初まる（道路、プール） 農免道路事業着工
昭和45年	
昭和46年	
昭和47年	
昭和48年	
昭和49年	
昭和50年	

*あとがき

本町勢要覧は、本町の概要を知って戴くために編集いたしましたですが、資料不十分のため部分的には、調査時点の異なるものがあります。

今回は取りあえず必要と認めたものを集録し、内容充実に努めました。が、種々不備の点があります。

今後は、各位の御指導をいただき、改訂を迫って逐次内容も改善していきたいと考えております。

『76 玄海』

昭和51年12月発行

発行所

佐賀県玄海町総務課
玄海町諸浦 330番地 〒847-14
☎ (095552) 2111

印刷所

株式会社ニオカ印刷
唐津市東町 2-55 〒847
☎ (09557) 代③0303

